

2025年12月15日



今回のおすすめメニュー

【あの映画の続編】

『あの星が降る丘で、

君とまた出会いたい。』

著者:汐見 夏衛

出版社:スタート出版

所蔵館:中央館

請求記号:913. 6シ

NO IMAGE

ちょっとあじみ

〈物心ついたころから、繰り返し見る夢がある〉

丘一面に咲き乱れる百合の花に囲まれて、こちらに背を向け星空を見上げている女の子。顔は見えないけれど、夢の世界で彼女と出会うたびにどうしようもなく懐かしいような、泣きそうに切ないような、言葉にできない気持ちになるのだ。

中学2年生の宮原涼は小さいころからサッカーが大好きな男の子。父親の転勤で県外へ引っ越し、夏休み前に転校することになった。転校先の中学校に挨拶に行く日、学校の近くで何気なく振り向き目を向けると、すぐそこにひとりの女の子が立っていた。視線が静かに絡まり、時の流れが止まったような気がした。彼女はなぜか驚いたように目を見開き、涼の顔をじっと見つめている。涼は自分でも意味不明な思いが込み上げてきた。 「やっと見つけた」

前作で泣いたみなさんにも、これから読み始める人にも絶対オススメの本作。すでに映画化も決定して2026年公開予定です。百合と彰と涼、そしてみんなが幸せでいられる世界がいつまでも続きますように。